

## 小田原駅・小田原城周辺の懸案事業について

### 1. 施設配置

小田原駅・小田原城周辺の懸案事項である「お城通り地区再開発事業用地」、「小田原駅地下街施設」、「現ホール予定地」、「市民会館等跡地」の活用については、このたび、下記のような立地と機能の組み合わせ案を基本として、今後、事業推進に向けた具体的な検討に入っていきたいと考えています。

#### <基本とする「立地と機能」の組み合わせ案>

お城通り地区 再開発事業用地	<p>&lt;公共施設商業融合施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民会館本館機能 会議室（大・中・小）・展示室 等</li> <li>○ 市民活動支援拠点 市民活動サポートセンター・国際交流ラウンジ・女性プラザ 等</li> <li>○ 子育て支援拠点 子育て支援センター・子育て広場 等</li> <li>○ 商業・業務機能 商業施設・業務施設 等</li> <li>○ 駐車場</li> </ul>
小田原地下街施設	<p>&lt;商業機能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 商業施設 等</li> </ul>
三の丸地区  (現ホール予定地 市民会館跡地ほか)	<p>&lt;芸術文化交流施設&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民ホール 大ホール・小ホール 等</li> </ul> <p>&lt;周遊拠点機能&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ガイダンス施設 観光案内所・物産館 等</li> <li>○ アメニティ施設 お休み処・広場 等</li> <li>○ 観光バス駐車場・一般車駐車場</li> <li>○ ポケットパーク 等</li> </ul>

### 2. 4つの判断基準

プロジェクトの検討結果を受け、(1)技術的な可能性（建築面、財政面）、(2)交流人口の大幅拡大と高い回遊性の実現、(3)事業の早期実現、(4)これまでの市民意識や合意形成経過への配慮という4つの視点から、総合的に小田原駅・小田原城周辺のまちづくりの方向性を判断しました。

### 3. 機能配置の基本方針

今回のプロジェクトによる検討案の中で、実現の可能性が高い案であった、(1)新たな市民ホールと周遊拠点機能を三の丸地区に設置する、(2)お城通り地区は市民会館の本館機能や市民施設を集約するなど公共要素を高めた事業案に変更する、(3)地下街はお城通りと一体的にとらえ、商業利用を中心とした活用を図るという組み合わせ案を、機能配置の基本方針として位置づけました。

### 4. 今後の課題

三の丸地区に市民ホールを建設しますが、市民意見を反映した十分な機能を備えたホールとするため、また、周遊拠点を三の丸地区に整備するためにも、周辺用地を拡張し、歴史と文化の拠点空間としてのゆとりを確保することが必須であり、その実現への課題は多いものと考えております。

市としては、直面している状況、あるいは山積している懸案事項である、少子高齢社会への対応、経済の再生や市民活動の活性化などに一日も早く向かうためには、平成23年4月にスタートする総合計画に課題解決に向けた政策を具体的に位置づけていく必要があります。そして、この新総合計画の策定には、市民・議員・職員が一丸となった協働作業が不可欠であり、その作業には十分な時間とエネルギーを投入しなければなりません。この策定作業が本年度後半から本格的に始まることを踏まえ、小田原駅・小田原城周辺の懸案事業についても、早期に課題解決に向けた方針の樹立が必要であります。

### 5. 事業化を目指して

今後は、今回お示した組み合わせ案に軸足を置き、その実現の可能性や細部の検証を含め、11月に設置する検討委員会で十分に議論していただくとともに、市民や議員の皆様から広範な意見をいただき、事業化を目指してまいります。それぞれの事業をどのような形に仕上げていくかは、まさに今後の市民参画による検討プロセスに委ねていくこととなります。

今後とも、市民の皆様におかれましては、本市のまちづくりにご協力を賜りますようお願いいたします。

### 6. 小田原駅・小田原城周辺まちづくり検討委員会

検討委員会では、小田原駅・小田原城周辺の活性化を目指し、お城通り地区再開発事業用地、小田原地下街施設、そして、ホール予定地を含む三の丸地区について、市が示した基本方針に基づき、各事業用地に整備される具体的な内容などを検討します。

<構成メンバー> 18人（学識経験者6人、団体代表6人、公募市民6人）

<市民委員募集> 10月31日（金）まで（必着）に、公共施設や市ホームページにある応募様式に必要事項を書き、800字以内の小論文を添えて、応募してください。

小論文のテーマは、「小田原駅・小田原城周辺のまちづくりについて」